

HARP うちあけ話

広島大学図書館学術情報リポジトリ主担当

共同リポジトリ情報交換会
2008.3.18



そもそもの出発点

広島大学の平成18年度のCSI委託事業領域2
「平和学リポジトリ」

- 広島大だけではコンテンツが少ない
- 広島県内からも集めては？
- 共同で何か作れるのでは？
- 広島大でもテクニカルなスキルを得たい



意外と集まってしまった

2006.10

共同リポジトリ構築実験プロジェクト
県大学図書館協議会を通じて呼びかける
→8大学が参加

ホンネ

微妙に多い数。数大学で集まって実験的に作ってみてこんな
んできました。で、どうする？ くらいの軽い気持ち(甘い)だっ
たので、いきなり決断させられて躊躇。

→結果的にはよかった。



実験なのかどうなのか

(第1回勉強会後の参加館の声)

- 実験で終わるのならば、正式な手続きもふまずにそれなりに付き合うが。
- CSI事業でやりました、だけでいいのか。
- それなりとはいえコンテンツを集めるのなら、ゴールが必要ではないのか。

ここはやっぱり
広島県大学図書館協議会で
本気でやることにしよう(2006.12)



HiRで間貸しか否か

- E-repositoryは物理的に困難
- 大学ブランドの向上が学内合意のキー
他大学を入れるのはまずいのでは
- オープンソース導入のスキル取得
- 広島大に包含されるのは如何なものか

別建て



ソフトウェア

領域ごとに管理者が設定できるオープンソース
DSpace
E-prints
XooNips

インストールできても保守できないかも！
→業者委託のできるDSpaceに

ホンネ

サーバを買ったらDSpaceがついてきた ようなもの



ソフトウェアのカスタマイズ

- トップコミュニティごとのbaseURLの作成
- 資料タイプごとのブラウジング
- ソートキー
- 文献ごとのダウンロード数表示
- 総ダウンロード数・総ファイル数表示
- PDFカバーページ



お金の問題

- 初期導入経費はCSIで賄う
サーバ・Dspaceカスタマイズ費
- ランニングコスト(コンテンツ収集)は各自
→CSIが継続するなら申請
- 保守委託費・サーバ更新積立金
→分担 参考:試算表

ホンネ
分担金の上限を聞くと
3-5万円/年が多数だった



県大図協へ提案

- 正式事業としての承認
(参加は全加盟館強制ではなく任意)
- 委員会の設置
- 補助金の支出



県大図協から補助金

2007.4 広島大学内で協議

- 余剰金がない
- HARPへの参加は任意
→全加盟館からの会費を使うことへの是非
- 参加館の数も未確定・運営も不確定
→**時期尚早・軌道に乗るまで待て**

ホンネ

時期尚早？今しか決めるときはないのでは
山形方式にしておけば面倒はなかったかも



やっぱり県大図協から補助金

- 台所事情
→ 節約して余剰金を捻出
- 会費から支弁
→ 名実ともに県大図協の正式事業にするために必要

2007年度総会で検討中、と報告。
2008年度総会で提案



広島大学の立ち位置

- HARP参加館にあらず
→ コンテンツは入れない・分担金は払わない
- 共同リポジトリ委員館・事務局として関わる
→ 会費の管理・システム関連の連絡
→ 勉強会ほかサポート

参加館のホンネ
国立大は異動多いし、事務局は担保
(ハシゴを外さないように)



広島大学のメリット？

- LEAP(UCL)の話
- 広島の研究成果をまとめる、とか、平和学とかは、実は既に念頭になし
- 広島大学の地域連携事業の一つ

ホンネ

当初は、自IRも軌道にのっていないのに…
というジレンマもあり。
最近ではHARPの方が有名になって
ちょっと悔しい。でもやっぱり嬉しい。



参加館間の温度差

- 業務のプライオリティ
- 研究大学と教育大学の違い
- 紀要発行団体との関係
- 分担金より作業の手間
- 国立大学だけが旗をふっても遠い話
→ 公私立が中心的役割を担うと共感



20年度計画

- 4月30日オープン予定
- CSI事業領域1に申請
→人件費(WhiteRose方式)
→遡及を中心に
- CSI事業領域2も申請

ホンネ
CSIの継続はないものと思っていたので
自前で収集するつもりだったが、
作業量の多さにちょっと愕然。



課題は山積

- マンパワーの問題 とりあえず紀要後が続くか？
- HARPの中で大学ブランドを
出していけるのか、どの程度認めるのか
- 県大図協HARP非参加館へもメリットのあるものになるのか
- 原則は随時参加・随時脱退
卒業は望ましいが後に残された大学はどうする

コミュニティのよさを活かして、大局は楽しく

